

グローバル人材育成へ 高校生から海外経験を

県が初の留学フェア

県教育庁は1日、中央区のきぼーる会議室で「県高校生留学フェア」を初開催した。高校生のうちに海外に出て、国際社会で活躍できる人材を育成しようと、留学の効果や方法を紹介。高校では提携している海外の学校を訪問しあうなど、国際交流が行われているが、今回は1年間の交換留学や、長期の自費留学を促進する狙いがある。高校入学後に留学を考えている中学生を含めて11人が出席し、講演や説明会を熱心に聴講した。



実体験から10代の留学の効果を話す西沢さん
= 1日、中央区のきぼーる

誰も相手にしてくれないし、友達もできない」と話し、勇気を持って積極的に

活動し、一步一步成長していった体験談を紹介した。グローバル人材になるためには、英語力に加え、「異文化理解」「主体性・積極性」「チャレンジ精神」を養うことが必要と力説。「留学は柔軟性と適応力がある十代のうちに経験するほう

が絶対いい」と勧める。西沢さんは25年間に1万人以上の留学相談を受けてきた専門家。同じ英語圏でもそれぞれの国で違う教育制度を説明した上で、「海外の大学に入りたいと考えているのなら、内申書が大切」と話した。

留学説明会にはアメリカ、カナダ、オーストラリアの大使館の担当者が出席し、現状を紹介。また留学を推進するAFS日本協会、YFU国際交流財団が、具体的な方法などを説明した。